

レジメンスケジュール

診療科	消化器外科
適応	HER2陽性切除不能進行再発胃癌
レジメン	胃SP+Tmab療法

申請・改訂日	2011年7月
備考	Her2陽性胃癌1st line

クール回数	
-------	--

使用した臨床データ	がん化学療法レジメンハンドブック
-----------	------------------

1クール目															
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day21	
メイン①		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○								
メイン②		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○								
メイン③		生理食塩液	500mL	メイン	120分		○								
側①		アプレビタント		内服	シスプラチン投与1時間前		125mg	朝80mg	朝80mg						
側①		デキサメタゾン注	9.9mg	側管	15分	①と同時に開始	○								
側①		パロセトロン注	0.75mg				○								
側①		生理食塩液	50mL				○								
側②	○	トラスツズマブ	8mg/kg	側管	90分		○								
		生理食塩液	250mL												
側③		生理食塩液	50mL	側管	全開		○								
側④	○	シスプラチン	60mg/m2	側管	120分	total500mL	○	シスプラチン投与後数日間は放水励行。補液追加も検討を。							
		生理食塩液	500mL												
メイン④		生理食塩液	500mL	メイン	120分		○								
	○	S-1	40mg/m2/回	内服	1日2回朝夕		day1-14後休薬(2投1休)								
							体表面積1.5m2以上:120mg/day 体表面積1.25~1.5m2:100mg/day 体表面積1.0m2以下:80mg/day								

2クール目以降															
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	day21	
メイン①		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○								
メイン②		酢酸リンゲル液	500mL	メイン	120分		○								
メイン③		生理食塩液	500mL	メイン	120分		○								
側①		アプレビタント		内服	シスプラチン投与1時間前		125mg	朝80mg	朝80mg						
側①		デキサメタゾン注	9.9mg	側管	30分	①と同時に開始	○								
側①		パロセトロン注	0.75mg				○								
側①		生理食塩液	50mL				○								
側②	○	トラスツズマブ	6mg/kg	側管	30分		○								
		生理食塩液	250mL												
側③		生理食塩液	50mL	側管	全開		○								
側④	○	シスプラチン	60mg/m2	側管	120分	total500mL	○	シスプラチン投与後数日間は放水励行。補液追加も検討を。							
		生理食塩液	500mL												
メイン④		生理食塩液	500mL	メイン	120分		○								
	○	S-1	40mg/m2/回	内服	1日2回朝夕		day1-21後休薬(2投1休)								
							体表面積1.5m2以上:120mg/day 体表面積1.25~1.5m2:100mg/day 体表面積1.0m2以下:80mg/day								

上記後維持療法														
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day21
①		生理食塩液	50mL	メイン	ルート用		○							
②	○	トラスツズマブ	6mg/kg	メイン	30分		○							
		生理食塩液	250mL											
③		生理食塩液	50mL	メイン	全開		○							
④	○	S-1	40mg/m2/回	内服	1日2回朝夕		day1-21後休薬(2投1休)							
							体表面積1.5m2以上:120mg/day 体表面積1.25~1.5m2:100mg/day 体表面積1.0m2以下:80mg/day							

投与量	シスプラチン	S-1(※用法用量外)		
		1.25m2未満	1.25~1.5m2	1.5m2以上
通常量	60mg/m2	40mg/回	50mg/回	60mg/回
1段階減量	50mg/m2	休薬	40mg/回	50mg/回
2段階減量	40mg/m2	休薬	休薬	40mg/回

減量・中止基準

シスプラチンとS-1		
副作用	程度	対処
非血液毒性	G4以上	休薬、回復後別表の通り減量
白血球数	2000/mm ³ 未満	休薬、回復後別表の通り減量
好中球数	1000/mm ³ 未満	休薬、回復後別表の通り減量
血小板数	50000/mm ³ 未満	休薬、回復後別表の通り減量
FN	発現時	休薬、回復後別表の通り減量
肝機能障害	G2以上	休薬、回復後別表の通り減量
腎障害	Ccr60～80mL/min	シスプラチン通常量、S1 1段階減量
	Ccr30～60mL/min	シスプラチン50%減量、S-1 1段階以上の減量(30-40mL/minでは2段階減量)
	Ccr30以下	シスプラチン中止
トラスツズマブ		
特に規定なし。定期的な心機能のモニタリングを行うこと。		